

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

報告日 令和7年 11月 27 日

P T A名		静岡県立中央特別支援学校 P T A				
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input type="checkbox"/> 知的障害	<input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input type="checkbox"/> 中学部	<input type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	157				

1. 使用状況

寄贈物品名	スヌーズレン用品
使用学年及び人数	全校児童生徒 157人
使用頻度	2～3カ月に一回(授業)、常設
使用状況	<p>主に、体をリラックスさせること、体の緊張をほぐすことを目的とした「自立活動」の授業で使用しました。</p> <p>アクアタワー使用時には、部屋を暗くして、オルゴール調の音楽を流して、児童がリラックスしやすいように環境を整えて使用しました。</p> <p>また、教師が児童の体に触れて、体の緊張を抜くことができるように促しながら使用しました。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>暗い部屋の中に優しい光と泡の動きを広げることのできるアクアタワーは、児童が体の力を抜いてリラックスするのに、大きな効果があったと思います。興奮状態になりやすく、じっとしていることが苦手な児童も、アクアタワーがあることで、普段よりリラックスをした状態になり、教師からの働きかけを受け入れることができました。</p> <p>また、光や動くものなどの視覚刺激が大好きな児童がいます。そういった児童は、アクアタワーの前にじっと座って、ひたすらにアクアタワーを見つめている様子がありました。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>これまで、この教材は、まとまった時間があり、授業の環境を十分に整えられるときに使用してきましたが、今後はより気軽に活用して、使用の機会を更に広げていきたいと感じています。</p>
その他希望や所感など	特にありません。

2. 活用の様子



授業でスヌーズレンの動く魚の玩具に見入っている様子です。